

会 議 録

1 会議名

令和2年度 第4回諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

① 「公の施設の再配置計画」の策定について

(2) 協議事項（公開）

① 自主的審議について

・ 身近な地域の課題等について

3 開催日時

令和2年9月2日（水）午後7時から午後8時30分まで

4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：川上 俊一、川上 奈津子、川上 久雄（会長）、川室 光昭、西嶋 明子、
服部 幸雄、堀川 悦郎、山岸 愛、山岸 真也、山田 勝也、
山田 哲平（副会長） （欠席1人）
- ・ 市役所：行政改革推進課 星野参事、内海主任
社会教育課 宮崎参事、加藤副課長
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【藤井係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上

の出席を確認、会議の成立を報告

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【川上会長】

- ・会議録の確認：西嶋委員に依頼

次第 2 議題「(1) 報告事項」に入る。最初に「① 『公の施設の再配置計画』の策定について」である。本日は担当課である市の行政改革推進課と社会教育課より出席いただいている。行政改革推進課より説明を求める。

【行政改革推進課 星野参事】

- ・挨拶
- ・資料 1-1、1-2 に基づき説明

次に、公民館を所管している社会教育課より公民館について補足する。

【社会教育課 宮崎参事】

- ・挨拶

今ほど公の施設の方向性について、行政改革推進課より説明した。諏訪地区公民館については、昭和時代に建てられた建築物であり、老朽化が進んでいるが、今後も地域住民より継続して利用していただきたいと考えている。先般、地元諏訪地区の町内会長協議会長と他の町内会長 2 人とこの場で話をする機会があり、その際も地区公民館を今後どうしていったらよいかについて話をした。やはり老朽化が進んでいるため、今後も長く使っていくためにある程度は改修をしていく必要があるだろうとの話があった。現時点で、具体的にいつから、何をするとといった説明はできないが、この施設をどのように使用しており、今後どのように使っていけばよいかを踏まえ、地域の方と話し合いしながら施設の整備について考えていきたいと思っている。今後も継続的な利用をしていくという中で、具体的な方向性等が定まってきた際には、地域協議会に改めて報告したいと考えている。だが現在は、まだ具体的にどうするのかというところまではいっていない。ある程度は改修をしながら使用していく必要があると思っていることを理解いただきたいと思っている。

【川上会長】

今ほどの説明のとおり、諏訪区の公の施設はそのまま継続し、今後 10 年は維持管理

していただくということである。諏訪地区公民館についても、老朽化が進んでいるため改修についても検討していただいているようであり、明るい話かと思う。今ほどの説明について質疑を求める。

(発言なし)

せっかくの機会であるため、ぜひ発言してほしい。公民館で日ごろ頑張っている西嶋委員より何かあるか。

【西嶋委員】

公民館については、町内会長協議会の会長や事務局、その他数人の町内会長と協議をされているようなので、見守っていきたいと思っている。別件であるが、地区公民館の周辺は雑草がすごく、刈ってもすぐに生えてしまうため苦勞しているのだが、今回、町内会長協議会の服部会長より整備していただいた。また町内会としても管理等していただいております、たいへん助かっている。

【川上会長】

皆が使う施設であるため、今後も協力して管理し、大切に使用していきたいと思う。とは言っても老朽化は抑えられないため、危ない箇所については早めに直していただけるよう提案したいと思う。他に質問等あるか。

(発言なし)

以上で「(1) 報告事項」の「① 『公の施設の再配置計画』の策定について」を終了する。

次に次第2 議題「(2) 協議事項」の「① 自主的審議事項について」事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・資料2に基づき説明

【川上会長】

今ほどの説明について質疑を求める。

(発言なし)

これよりグループに分かれ、各自が考える「地域の課題」や「地域の特徴」の絞り込みを行う。

－ 班別審議 －

【川上会長】

全体での審議を再開する。最初に1班より発表願う。

【服部委員】

1班の発表を行う。まず困っていることに関しては、今後は高齢者の運転免許証の返納等が多数出てくると思うが、それに伴って、例えばコンビニやスーパー、量販店に買い物に行くにしても、公共交通機関の便が悪いとの意見が出ていた。また高齢者が増えることにより、町内会活動にたいへん支障をきたしており、地域の活動がうまくいかない、それに付随して地域のよさが外に出ないとの意見があった。

次に心配していることに関してである。やはり1番は小学校の児童数減少についてで、ゆくゆくは小学校の統廃合問題も出てくると思っている。またそれに関しては、一生懸命移住促進に取り組んでいる人にも影響が出てくることが考えられる。また、高齢化、人口減少、空き家の増加といった意見があった。

次に好きなどころについてである。二貫寺の森等もあるため、自然が豊かであるとの話があった。また諏訪区からであれば、車さえあれば海も山も、割と時間をかけずに行ける利点もあるのではないかと意見もあった。

次に自慢したいところである。三世代世帯が多いこと。それに付随して地域の団結力、また非常に横の結びつきが強い、家庭の結びつきが強いとの意見もあった。また市内においても、もしかすると他にもあるのかもしれないが、地区のホームページを開設している地区は諏訪地区のみではないか。それに関連して情報発信の強みがあるのではないかと意見があった。

【川上会長】

次に2班より発表願う。

【山岸 愛委員】

グループに分かれて話し合った意味がないほど、同様の意見が多かったように思う。2班での審議の結果で困っていることに関しては、やはり移動手段がどうしても限られていること。次に少子高齢化による人口減少が困っていることの主な2つであった。

次に心配していることに関しては、人口減少による学校の統廃合問題。人口不足による空き家の増加に伴う空き巣等の防犯上の心配。耕作放棄地が増えているため雑草等の空き地問題。あとは消防団や農業法人の担い手が不足するのではないかと人口

不足に伴う心配事といった意見が出ていた。

次に好きなどころについてである。これも1班と似ているのだが、協調性・協力性がありイベント等の行事への参加率の高さ、子どもたちの仲のよさ、住民の人柄のよさといった意見があった。あとは、自然があって静かなところ、妙高山が見える、はさ木、水源があるといったように景観がよい。それは自慢したいところにももちろん繋がっていく。また立地・利便性がよいということも自慢したいところである。海も山も近く、駅もわりと近い。あとは福祉施設や病院が近くにあるとの意見が出ていた。

【川上会長】

今回出た意見をもとに、どのようにしてまとめていくのかについて意見を求めたいと思う。「人口減少」「高齢化」がメインテーマのような気がしている。テーマを2つほどに絞ってもよいと思う。確かに、高齢者が買い物や通勤等で外出をするにはバスもなく大変である。もう1つの「人口減少」も、高齢化の問題とも関わるものであり、また諏訪区に限った問題ではない。「高齢化」「人口減少」との2つのテーマになるかと思っている。

【藤井係長】

人口減少によって困っていることは何かと考えていただければよいと思う。それが、買い物や通院をどうすればよいかといった具体的な内容につながっていくと思う。

【川上会長】

先ほど意見にあった子どもたちが減ることについては、困っていることではなく心配していることだと思う。困っていることとしては、1番は「高齢者の交通手段」「高齢化」だと思う。だが「高齢化」や「人口減少」については、困っているというよりも心配していることに近いようにも思う。何か意見等あるか。

(発言なし)

次に「心配していること」について、どのようにまとめるか。

空き家も人口減少によるものだと思う。人口が減ることによって空き家や耕作放棄地が増える。つまり、人口減少による弊害ということだと思う。それと同時に、消防団や農業法人の担い手がいないため困っていることも人口減少から来ていることだと思うため、一緒だと思う。

次に「好きなどころ」についてである。「人柄」「協力性」「自然が豊か」との意見が

出ていた。また「二貫寺の森」も「自然が豊か」に含まれると思う。まとめると「二貫寺の森があり、自然が豊かで静かなところ」という感じになると思う。

【堀川委員】

海や山へすぐに行けるということも、利便性が高いとの意味で好きなところに含まれると思う。車さえあれば、どこにでも行きやすい。

【川上会長】

漠然とはしているが、車さえあれば海・山、買い物に行くにもそれほど遠くはなく、住みやすいことが好きなところと言えると思う。

次に「自慢したいところ」についてである。諏訪区のホームページがあるということも、やっている地区があまりないため自慢できるところだと思う。ここでも「利便性」として「海や山が近い」との意見が出ていた。

【堀川委員】

それも「好きなところ」に含めてよいと思う。

【川上会長】

意見に「三世代家族が多い」とあったが、諏訪区は他と比べても三世代家族が多いのか。

(「多い」との声)

確かに三世代家族が多いというのは自慢できるように思う。

【山岸 愛委員】

自慢したいところはたくさんある。

【堀川委員】

「三世代世帯が多い」「ホームページがある」「福祉施設・病院が近い」の3つがよい。

【川上会長】

確かに、田舎であっても「福祉施設や病院が近くにある」ということはよいと思う。これらをもとに諏訪区の自主的審議の課題とできればと思っている。これをどのようなかたちでテーマとして持っていくのかが問題である。

【山岸 愛委員】

これをもとに町内会長との意見交換等を行うのか。

【川上会長】

いろいろなところから意見を聞き、地域住民が考えることと地域協議会委員の考えで似ているところがあれば、それをもとに話し合い、解決できれば1番よいと思っている。そのような進め方としてよいか。

【藤井係長】

本日、地域協議会委員の皆さんの意見を聞いたため、これを整理したいと思う。いずれにしても、この後の工程としては、関係者や担当している人から話を聞く・調べる等、情報を集めて実態を知ることだと思っている。その工程を経たうえで、どのテーマを重点的に審議していくのかを決められればと思っている。今後の工程や内容がはっきりせず申し訳ないが、まずは事務局で整理し、正副会長と協議したいと思っている。

【川上会長】

今ほどの事務局の説明にあったようなかたちで進めていってよいか。

(よしの声)

なかなかまとめづらいことではあるが、まだ時間もある。

【藤井係長】

一点確認をお願いしたい。あくまでも仮の話ではあるが、小学校が統廃合された場合、諏訪区に小学校がなくなって困ることとは具体的に何か。

【山田 勝也委員】

体育大会ができなくなる。地域の集まりがなくなる。

【山岸 愛委員】

地域の行事がなくなると、住民が集まるきっかけがなくなってしまう。例えば、戸野目小学校や稲田小学校と一緒になるということになるのか。

【堀川委員】

子どもたちはどのようにして通学するのか。

【山岸 愛委員】

遠くの学校へ通うことになると思うため、「交通手段」が課題になってくると思う。保護者が送り迎えをすることになると思うため不安である。ただでさえ中学校が遠いのに、小学校1年生がどのようにして隣の小学校まで通うのか不安である。

【藤井係長】

それについては、まだ先の話だが、おそらく統廃合の話が出た場合には、交通手段についても検討されると考える。

【山岸 愛委員】

困ることや心配事として、未来の話としてはそこも出てくると思う。

【藤井係長】

現在でも、自宅から小学校が遠い児童はバス通学をしている場合もある。バス通学となった場合には、小さな子どもだけでバスに乗せるのが心配といった違う心配が出てくるかもしれない。

【山岸 愛委員】

都会とは違い、冬は降雪があるためさらに心配である。山間地等の過疎化が進んでいる地域の子どもたちのように、スクールバス等の対応が可能なのか。現在も子どもが少なく集団登校ができないため、ある程度は保護者が一緒に付いて行っている。現状でこのようなことがあるため、すでに通学については心配であり、より不安になる。将来的に小学校がなくなるということは、今より児童が減る可能性がある。そして急に小学校がなくなるということはないと思うため、残り少なくなった時の子どもたちがどうなるのかも心配である。テレビで3人や4人で卒業式を行っている小学校を見たことがあるが、諏訪小学校も同様になってしまうのかと思うと心配である。そうなった際に、移住を促すというより、子どもを育てられない地域になる。

【川上会長】

移住を促進するためにも、小学校の存続は必要だと思う。そこにもつながっていくと思っている。

【山田 哲平副会長】

今ほど小学校の統廃合の話が出た。親の立場としては、やはり子どもが少ないとPTA活動や登下校等、親の活動が多くなる。仕事をしながらそれらを一緒にこなすことは、かなりの負担となる場合もある。限られた人数で会議もしていかなければならない。子供会もそうである。活動はこれまでどおりに行わなければならないこともあるため、やはり親の負担が大変なところがある。統合したことによって、親の負担が多少解消できるのであれば、またそれはよいと思える部分もあるように思う。

【川上会長】

小学校統廃合の話はまだ来てはいないが、実際に PTA のほうには統廃合についてのアンケート調査が行われたようである。アンケートでは「統合をしたほうがよい」「しないほうがよい」等様々な意見があったようである。PTA アンケートを実際に見た委員はいるか。

【山田 哲平副会長】

昨年アンケートに回答した。

【川上会長】

先日、学校運営委員会で資料が出ていたため、校長先生に地域協議会で話を出してもよいかと確認したところ、大丈夫とのことであった。本日、資料を持ち合わせてはいないが、実際には、統合するか否かとの問題とまではなっていないようである。統合が今すぐということではないが、近い将来にそういったことも考えられると思っており、本当に心配なことだと思う。

では、これらをどのようにまとめていくか。少し漠然としているのだが、本日出た意見を正副会長で取りまとめ、今後の方向性等を事務局と一緒に打合せしたいと思う。課題はいろいろとあるが、委員各自が考えていることに大きな違いはなかったように思う。これについて解決策を考えていきたいと思う。以上で次第 2 議題「(2) 協議事項」の「① 自主的審議事項について」を終了する。

次に次第 2 議題「その他」である。本日の議題に関して、何か意見等のある委員の発言を求める。

【堀川委員】

次回の地域協議会はどのような話し合いになるのか、今分かっている範囲で教えてほしい。

【川上会長】

次回の地域協議会については、本日出た意見を取りまとめ、どのような話し合いに持っていくのかを事務局と正副会長で検討し、自主的審議の課題をどうするのか等を改めて案内したいと思っている。

【堀川委員】

先ほどの説明で、いったん持ち帰り正副会長と事務局で検討するとあったが、次回

の協議内容を決めるために検討するということか。

【川上会長】

そうである。次回の地域協議会のためにいったん持ち帰り、今後どうしていくのかを検討したいと思う。他に何かあるか。

(発言なし)

次に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局に説明を求める。

【藤井係長】

- ・次回の協議会について説明

【川上会長】

先ほど堀川委員より意見があったように、まだ地域の議題がはっきりとはしていないのだが、そのあたりを上手く調整して皆さんに提案できればと思っている。

－日程調整－

- ・次回の協議会：10月5日(月)、6日(火)、8日(木)の間で調整のうえ改めて連絡全体を通じてなにかあるか。

(発言なし)

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。